

OMC事務局 〒560-0085 豊中市上新田4-16-1-33 合原 一 夫 TEL06-6833-9227
 広報編集局 〒573-1171 枚方市三栗1-18-20 前田 茂 夫 TEL072-850-5781
<http://www.ne.jp/asahi/smaeda/12/>

平成23年6月(2011年) No.546

雨情もまた良し 白浜撮影会

恒例のOMC一泊撮影会は、5月28日、29日の第4土曜日曜にかけて白浜で実施しました。撮影のメイン対象は白浜の白良浜で毎年行われている「砂祭り」で、この祭りの日に合わせて例会日まで変更して来ました。

ところが例年になく早い台風の発生で初日は曇り時々小雨、2日目は風と雨が降ったり止んだりのあいにくの天候で、「砂祭り」も中止となってしまう残念でした。例年ですと5月一杯は晴れの日が多いのでお天気は心配していなかったのですが、今年についてはいいませんでした。

初日、地元、ビデオサークル紀南の森会長、土田益夫会員さんがそれぞれ車で出迎えて頂き、岡本さんと、岡本さんのご家族の車を借りて井上会員が運転した車、計4台の車で参加者13名が分乗して市内撮影に出かけました。水族館、千畳敷、三段壁、円月島、それに高台、平草原からの市内俯瞰撮影などを行いました。雨が降ったり止んだりしていましたが、雨なら雨でそれなりの情景を会員諸氏は熱心に撮っていました。2日目は雨に加えて少々風も出ましたので、砂祭り中止の知らせもあってそのまま帰る人もいましたが、怒涛の三段壁の大波を撮影したり、準備された砂祭り会場に盛り上げられた砂山を撮ったりと、雨対策もしっかりとされた熱心な人も多くありました。どんな作品が出来るか今から楽しみです。作品コンテストは、7月第4土曜日の13時半より例会場で開催しますので、撮影会に参加された方は全員出品されますようお願いいたします。

この度の撮影会ではビデオサークル紀南の全面的なご協力を得ました。特に森裕二会長、土田益夫様には大変お世話になりました。厚く御礼申し上げます。また今回の企画にお骨折り頂いた岡本世話役に感謝いたします。

6月例会のお知らせ

6月例会は第4土曜25日午後6時より、いつものJR難波駅上4階難波市民学習センターにて開催します。この日後で紹介の機材処分オークションを行いますので、ご希望の方はそのつもりで来て下さい。会場は冷房が効いていますので何か上衣を。では例会を楽しみに。

■機材オークションのお知らせ

OMC及びOVC各クラブではロッカーを一個づつ借りている他、もう一個を共通ロッカーとして借りています。ところがハイビジョンになってから機材が増えロッカーが窮屈になって困っていますので、この際使われていない機材を欲しい方にお分けしたいとオークションにかけることにしました。高く入札した方が落札です。

①ハイビジョン対応液晶プロジェクター

- ・サンヨー LP-Z2 型 取説付き
- ・大きさ 359 × 274 × 117mm 4.1Kg
- ・明るさ 800 ルーメン
- ・買ったとき H16 年 ヨドバシにて
希望小売価格 268 千円、買値 165 千円
- ・オークション売出し値 5 万円から

②DV録画再生デッキ

- ・パナソニック NV-DV10000 番
- ・ミニ DV 及び DV 標準テープ使用可
- ・但しハイビジョンは対応せず
- ・大きさ 400 × 350 × 120mm 5Kg
- ・買った時の記録不明 10 数万円か？
- ・オークション売出し値 5000 円から

■錦 務さんよりのお便り(要旨)

4 月 29 日早朝救急車で警察病院に運ばれ即入院、急性肺炎と診断され 5 月 20 日迄入院されていた由。退院後もしばらく静養するようにと医者から言われているので、残念ながらビデオは一時お預けとのこと。7 月例会頃には会場にも出掛けられるのではないかと、ということでしたが、どうかお大事に無理されないように、そしてまたお元気な姿を見せて下さい。

1泊7800円の満足のお宿

白浜撮影会で宿泊したのは、湯快リゾート・ホテル千畳。1泊2食付き 7800 円は確かに安い。家族連れで賑わっていた。安いわけは徹底した人件費の削減。合理化にあるようです。大浴場の温泉気分は良いし食事バイキング方式で種類も豊富、すっかり堪能しました。以前なら温泉地で1万円以下というのは考えられなかったのですが、見方を変えて徹底的に合理化すれば格安でしかも客に満足してもらえる宿泊施設もできるのだなあと感じました。

5 月例会のレポート

5 月の例会は 21 日の午後 6 時より何時もの例会場で開催しました。司会、進藤さん、書記、有村さん、デッキ係に井上さん、河合さん、江村さん、受付兼照明係を華岡さん、紙本さんの担当で進行しました。

◆出席者：有村、井上、岩井、江村、岡本、上総、紙本、河合、合原、進藤、関、高瀬、華岡、船橋、前田、森下、森田、山本、渡辺(敬称略)の 19 人と作品数 16 本でした。

◆上映作品(今月の記録と講評担当：有村世話役です)

1) 子育てペンギン

上総修一郎さん 3分00秒

約 10 年ほど前に作者が南極旅行をされた時に撮影されたペンギンをモチーフに、女性の声でペンギンを擬人化したセリフで作品を作られました。上総さんの今までの作品とちょっと趣を異にした、短編ながら楽しい作品でした。

2) 大阪城の冬から春

船橋喜敏さん 8分30秒

船橋さんのご自宅が大阪城の近くとの事。この公園は「自宅のお庭」みたいな所でしよう。最初に古木の幹の造形が表現されて、梅の花が満開の梅林園へ、続いて桃園、そして城内いっぱい咲く満開の桜が美しく表現されています。季節の移ろいを感じさせる作品に仕上がっていました。ただ、タイトルの「冬から春」の冬の情景が無かったように思いますので、「大阪城の春」で良かったのではないのでしょうか。

3) 道東の旅

合原一夫さん 7分54秒

9 年前の 3 月初旬に東部北海道をご夫婦で旅された時の映像を今回編集されて見せて頂きました。お二人とも今よりも若い。積雪の網走で蝦夷鹿、流氷が出てきます。知床から見る国後島、屈斜路湖では白鳥、そして丹頂鶴の里、美しい風景が続きます。最後は暮れなずむ流氷の海で終わります。自然大好きな私も存分に楽しませて頂きました。

4) ほのぼの SUN IN (HDV)

前田茂夫さん 6分54秒

タイトルは、昭和 62 年から JR 西日本が保有していた 2 輛編成のお座敷気動車の名前ようです。2008 年 6 月 22 日に岡山県の津山と山陰本線鎧駅の間を 1 回だけ走るといので、鉄っちゃんでもある作者は鎧駅で待ち構えて撮影されました。30 分の停車時間には車内に入って撮影しておられます。餘部での撮影は写友の鉄っちゃんに頼んで貴重な記録作品を作られました。その翌年 11 月 29 日にはこの列車は引退したそうです。何時もそうですが、ご自分の演奏で BGM にされています。ビデオ創作を含めて良い趣味を持つ事は良いことです。

5) 舩倉島のカミを迎えて (H D V)

河合源七郎さん 1 3 分 2 1 秒

能登半島各地のキリコ祭を取材しておられる作者は今回、輪島の 50 キロ沖合にある舩倉島に行かれて奥津姫神社を撮影され、輪島市内にあるその神社の里宮で行われた夏の太鼓祭を取材されました。若者たちに担がれた神輿が海に入り、島から神をお迎えし 2 日間盛大なお祭が行われます。そして最終日の夕方には島に帰ろうとする神とそれを引き止めようとする民衆の間を何回も繰り返し海に入ります。海士を中心にした活気溢れる若者たちの競演が見事に描かれていました。

6) 若狭小浜 (H D V)

紙本 勝さん 1 2 分 3 6 秒

オバマ大統領と同じ名前で有名になった福井県小浜市は京都に向かう鯖街道の起点でもあります。その街道を例によって歩く作者が先ず小浜市の各所を取材しておられるのがこの作品です。港や回船問屋街から海浜公園、小浜城址と続きます。小浜公園から市内を俯瞰、八百姫伝説や NHK 大河ドラマ「江」の姉、お初の方のお話もありました。歴史が大好きな作者の面目躍如が伺えます。それにしてもようこれだけ撮影が出来るものですね。その健脚振りと共にいつも脱帽です。

7) 出発! (H D V)

有村 博さん 1 4 分 5 2 秒

5 月 8 日に東大阪市のふれあい祭パレードが行われ、その出発点で取材しました。

2 時間程撮影したのですが、行進物の編集は難しいですね。三脚無し、ナレ、音楽なしで現録のみの映像をどう料理しようかと悩んだ末がこれです。司会者の方から「頼まれて作ったものの様ですね」と言われましたが、本当にその通りです。そうじゃなかったのですがね。見て頂いた皆さんどうもお退屈様でした。

8) 御影ふれあい街歩き (60 p)

井上勝彦さん 8 分 1 0 秒

例会場にノートパソコンを持ち込んで、恐らく日本中のクラブ例会では初めての 60 p 作品を見せて頂きました。作品は御影の町中の美術館や神社を巡り撮りながら歩くというものですが、その粒子の詰まった様な映像が綺麗です。中にはコッテリしすぎて違和感があると言う人も居られるでしょうが、初めて見る映像には違いありません。現在 60 p は規格外ですので、パソコンで編集は出来ても出力出来ません。なら、どうして?と言う事ですが、お聞きしますと編集した作品を wmv ファイル (Windows Media Video) にして HDD に収録し、例会場でパソコンとプロジェクターを HDMI ケーブルで繋ぎパソコンの Windows Media Player で再生されたそうです。勿論プロジェクターも 60 p 対応の物でないと出来ないのですが、幸いな事に私達が使用させて貰っているのは対応しているのです。現在、テレビもブルーレイも対応物が出てきている様ですから近い将来には規格化されるのは間違いないと思われます。素敵なテスト作品を見せて頂き有り難うございました。

9) 八幡まつり (H D V)

進藤信男さん 1 5 分 5 5 秒

毎年 4 月 14, 15 日に行われている滋賀県近江八幡市の日牟禮八幡宮での火祭を取材されました。この祭は千数百年の伝統のある祭だそうです。14 日には大松明が奉納され、境内では子供松明に奉火されて引き回されます。やがて大太鼓が宮入りし、夜になると松明が奉火されます。15 日には神殿で例祭が行われ、上之郷、下之郷の巨大な松明が奉火され、その昔天皇の参詣の道案内をした故事に則って振り松明なども

ありました。八幡宮の門前に大きな広場があるので大がかりな松明でも燃やせるでしょう。素晴らしい映像で見せて頂きました。

10) 余部の冬 (H D V)

江村一郎さん 6分30秒

作者の余部通いも、何回になるのでしょうか。今回は真冬の余部です。雪の積もった現地の夜明け、お地蔵さんも雪帽子、工事の始まっている新しい鉄橋の上も積雪、積もった鉄橋の上を走る列車をトンネルの上から俯瞰、雪道をどの様にして登られたのでしょうか。吹雪の鉄橋、荒波の海、カメラの防護はどの様にされたのでしょうか。お見事な描写の連続でした。

11) シーギリヤ (H D V)

華岡 汪さん 8分30秒

インド洋に浮かぶ熱帯の島、スリランカへツァーで行かれた作者は巨大な岩山、シーギリアロックを取材されました。その周辺や岩山に登り、約 1500 年前にその頂上に王宮を作ったカッシャバ王にまつわる故事来歴を語っておられます。王宮遺跡は風化が激しく土台だけでしたが、圧巻は岩山の側面にあるシーギリアレディと言われる壁画です。色鮮やかに見事な絵画として残っていました。居乍らにして海外旅行での貴重な映像を見せて頂きました。

12) サイゴン (H D V)

関 剛さん 10分00秒

ベトナムのホーチミン市 (旧サイゴン) を訪れた作者は初めに聖母マリア教会を訪ねます。そして中央郵便局へ、ここで働く人、訪れて来る人の表情、特に生き生きとした若い女性が描かれています。そして昔のフランス統治時代の大統領官邸だった統一会館へ、総てに異国情緒が漂います。市場からメコン川の船着き場へ、ここでも活気に溢れた人々の姿が素晴らしい。今の行き過ぎた様な人権意識の日本では到底撮影出来ない様な画面です。良いですね。ノンナレーションの作品でしたが、楽しい作品でした。

13) 春の哲学の道界限 (H D V)

那須典彦さん 6分30秒

桜の花が満開の京都の名所の風情が描か

れています。女性のナレーションでしたが、どうも「声の職人」の音声のようでした。アップ、ミディアム、ロングの映像を使い分けて8ミリフィルム時代からの私の写真の腕はまだまだ確かなようですね。お元気になられたら一度例会に顔を見せてください。待ってまーす。

14) ボタン園 (H D V)

渡辺雄史さん 4分00秒

大阪長居植物園で満開のボタンとそれを楽しむ人達が描かれています。五、七、五の俳句が随所に出て女性の声で紹介されますが、どなたが作られておっしゃっているのか、ちょっと気になりました。機会があれば教えてください。

15) スリランカの神々 (H D V)

山本正夢さん 9分10秒

人口の 70 %が仏教徒という熱帯の島スリランカを旅された作者は岩に刻まれた仏像、石窟寺院の寝仏や諸仏像、仏の歯を収めた仏歯寺の仏像、そして昔王宮のあった所の仏などを、作られた年代をテロップされながら紹介してゆかれます。その中には華岡さんと同じシーギリアも出てきて、美女のフレスコ画 (シーギリアレディ) も紹介されます。敬虔な仏教徒のお詣り風景も出て、現地の雰囲気を感じられます。そして夕暮れの美しい映像で終わります。世界には私達の知らない所が一杯あるんだなあ、と思いました。有り難うございました。

16) 鎮魂の舞 (H D V)

高瀬辰雄さん 7分10秒

京都の円山公園でやっていた大道芸を撮影されて作品を作られました。顔に厚化粧をする所から始まります。東日本大震災で亡くなった方々の慰霊の舞をします、と述べて念仏ジョンガラが踊られました。異様なパフォーマンスの間に震災後の新聞記事や写真が表現されます。何とも云えない感覚で拝見しておりましたが、来月に震災地を訪れて精魂込めて舞ってきます、と挨拶があって終わります。現地での慰霊になれば良いのですが…。

これで総ての上映を終わり、何時もの様に居酒屋組と喫茶組に別れて2次会を楽しみました。